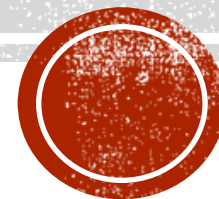


防災まちづくりは  
「わがまち防災マップ」から  
～防災・減災は絆づくり～



広島市防災士ネットワーク

# 広島市防災士ネットワークとは

- 平成26年8月20日未明に発生した「広島土砂災害」は、77名もの犠牲者が発生しました。南海地震は30年以内に70～80パーセントの確率で発生すると言われていています。
- 私達「防災士」は自助である「自分の命は自分で守る」事から始め、地域・行政と連携しながら、防災まちづくり・防災ひとづくりを進めています。
- 具体的には、地域に設置されている自主防災組織に中核的な「地域防災リーダー」として参画し、地域特性や災害歴などを研究しながら、日頃の自主防災活動や災害発生時の対応についての研修会や訓練を重ねています。
- 現在会員が約130名。

近年、豪雨による災害が増えている。  
広島市において、ここ5年で2度の豪雨災害が発生。

### 8.20広島豪雨災害



### 西日本豪雨災害



【出展：広島県「地域の砂防情報アーカイブ」より】

# 防災まちづくり事業について

平成26年8.月豪雨及び平成30年7月豪雨に係る市への寄附金を活用して  
自主防災組織に対する支援を行っている。

## 防災まちづくり事業

区役所

支援

消防署

わがまち防災マップの作成支援

地域の防災リーダーの養成等

地域における防災訓練の支援

防災ライブカメラの設置支援

防災体験学習の実施

効果

地域防災力の向上  
地域レベルでの地域コミュニティの向上

出展：広島市より提供  
「広島市防災まちづく  
り事業」より

# わがまち防災マップの作成支援

## ○ 概要

区役所、消防署等と連携し、土砂災害警戒区域等のハザード情報を基に、地域の避難場所や避難ルート上の危険情報等を記載した、「わがまち防災マップ」を地域主体で作成することを支援

## ○ 支援内容

アドバイザー派遣、マップ印刷など

## ○ 支援地区

広島市の単位自主防災組織 約1,900組織が対象  
平成27年度94地区、平成28年度186地区、  
平成29年度303地区、平成30年度223地区、  
平成31年度624地区、令和2年度464地区（予定）

## わがまち防災マップの意義

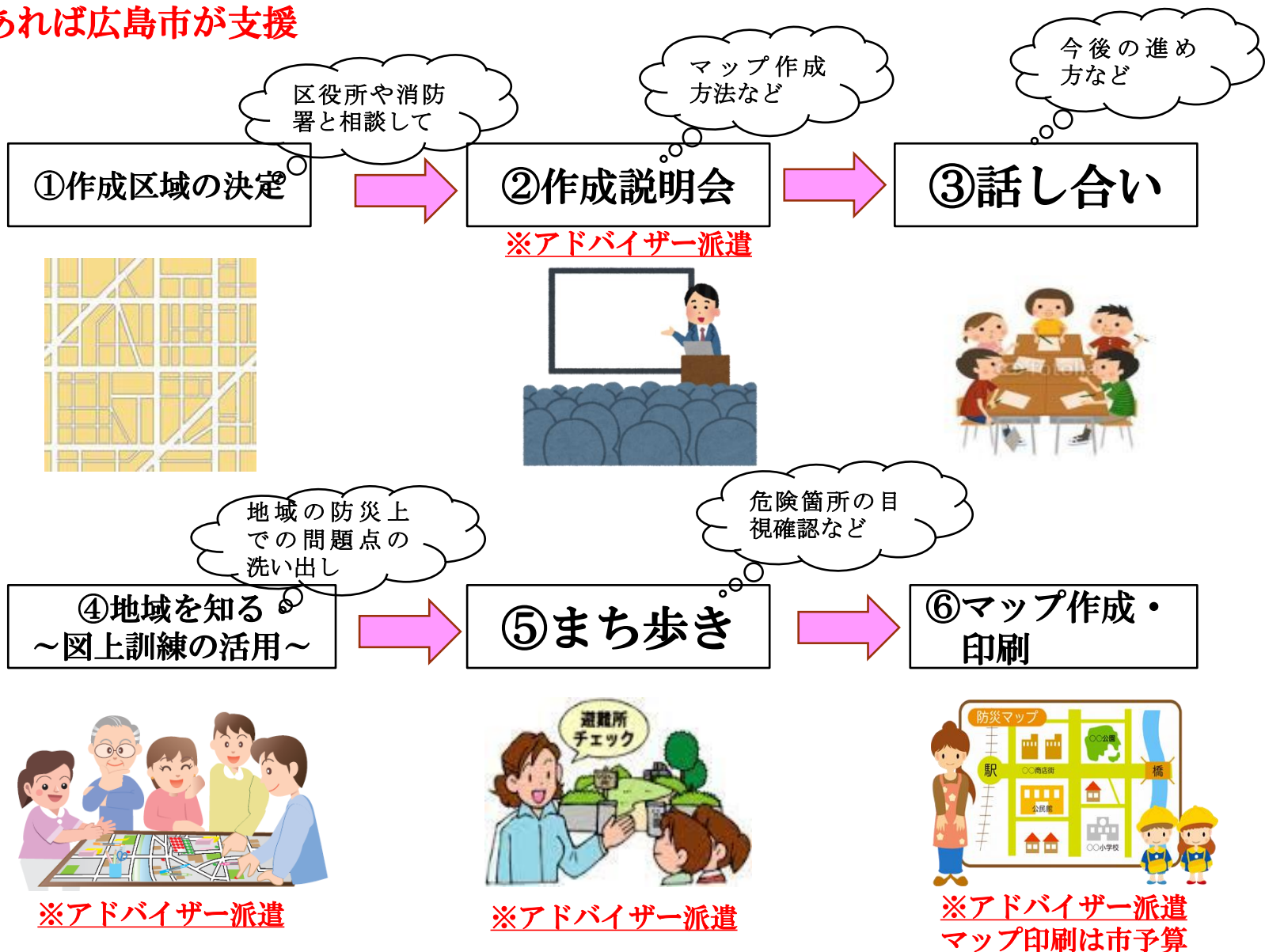
災害の危険性などを地域で共有するための**可視化のためのツール**であり、**作成がゴール**ではなく、**スタート**。

**できるだけ多くの方に**、図上訓練やまち歩きなどに**参加**していただくことにより、地域コミュニティの活性化を図る効果もある。

完成したマップを**家庭や地域の日常的な行事やイベント**で使い、普段から避難場所や避難経路などを確認し、**行動（避難訓練）**することが重要。

# マップ作成の流れ（例）

※印は希望があれば広島市が支援





まち歩き



DIG訓練



防災訓練



説明会



# わがまち防災マップが完成！



地域独自の情報  
を入れました

- 過去の災害発生場所
- 防災に役立つ施設（スーパー、ホームセンター等）
- 防災に役立つ人材（会長等） など

資料提供：広島市

編集：広島市防災士ネットワーク

〒739-1732 広島市安佐北区落合南3丁目6番1号

URL：<https://hc-bousaishi.com>

E-mail：[info@hc-bousaishi.com](mailto:info@hc-bousaishi.com)